

26. 兵庫トヨタ自動車



HYOGO TOYOTA

～阪神淡路大震災から学んだ防災意識とクルマが世の中に出るコト～

お客さま、社員、地域にとって、「良い（いい）会社」となること



「良きものを経て、なお良きものへ」

兵庫トヨタは、『「良きものを経て なお良きものへ」事業は社会奉仕の施設であります。私たちは自動車を中心とした職域で立派に社会のお役に立ちたいものです。』の経営理念の追求こそが、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処し、「誰も置き去りにしない」SDGs（持続可能な開発目標）の達成につながるものと信じて2020年5月、より一層SDGsの達成と経営を結び付け、兵庫トヨタの事業を通じて、社会・経済・環境の課題解決に取り組んでまいります。

兵庫トヨタの今プログラムの想い

兵庫トヨタは1995年 阪神淡路大震災を経験しました。だからこそ、災害発生時から、とるべき行動、クルマの装備がどんな場面で役立つかを、クルマを通じて何が出来るのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ トヨタの先進技術
兵庫トヨタの取組
- 10:15～ グループディスカッション
自分たちができること
- 10:55～ 中古車工場見学
給電見学
- 11:25～ ワークショップ（まとめ）
自助・共助活動とは
- 11:45～ 2000GT 撮影・見学
- 12:00 終了

実施場所：兵庫トヨタ自動車株式会社
藤原台総合センター（神戸市北区）
実施時間：10:00～12:00
※火・土・日・第2水曜は受入不可
所要時間：約2時間
実施可能人員：20名～40名程度
（日程により調整が必要です）
実施費用：1,000円/人

①中古車商品化工場見学／使用車をまるごと洗浄

下取りから中古車販売に向けた3R活動

中古車として、再販することにより、3R活動：Reduce（減量）/Reuse（再利用）/Recycle（再生）に貢献する。中古車の商品力をアップし、購入意欲を高めるために、クルマをまるごと洗浄します。ぜひ、その工程をご覧ください。



②トヨタの先進技術と兵庫トヨタのSDGs／給電見学

トヨタの先進技術により、クルマは災害時には様々な利活用ができます。兵庫トヨタの阪神大震災での経験から地域にとって良い活動を進めております。災害時の避難所としてのクルマ、ライフラインの一つである「電源（明かり）の確保」など、実際のクルマを使った、「電源」装備の作動を体験してください。



③自助・共助の探究とワークショップ

災害時、地域の一人として実態を知り、自分たちの「何が出来るか」を考えます。身近であるクルマも地域社会の有用なモノであることを知り、自助・共助に取り組む意識を醸成します。避難所で必要とされるものや避難所で出来ることについて考える。兵庫トヨタSDGs活動や災害時「クルマができること」を知り、生徒の防災意識や今後の活動にも繋がります。



26. 兵庫トヨタ自動車



学習のポイント

- ①自動車業界と地域社会の中からSDGsを学ぶ
- ②防災において「できること」を自ら考える
- ③自動車業界から課題解決のヒントを見つける



学習の流れ（モデル）

